

2010年 ルールの変更・確認について

(財) 日本レスリング協会
審判委員会

・修正点について

- ・ スタンドにおける場外の足は、一足が全て出た場合のみ1ポイントは成立する。
*足の一部がレッドゾーンにあればインの判断とする。
- ・ フォールの成立はマットチャーマンの確認が必要。

・コーションについて

(フリー・グレコ共通)

- ・ 頭突き等のバイオレンス行為は、1回目で [O+1] (状況に応じて注意もあり)
- ・ スタンドレスリングで、コンタクトしようとしめない場合1回目 [アテンション] を与え、2回目は [O+1] とする。(技術回避)
(例) *相手の組み手を嫌う・組もうとしない等
*相手と体が接触していれば、逃げではない。
- ・ スタンドレスリングで、1回目 [アテンション] 2度目は [O+1] とする。

(グレコ)

(技術回避)

- a) 頭を相手の体につける行為。(ヘッド)
 - b) 足を使っての行為 (足をかけようとする行為も同様)
 - c) スタンドレスリングで、両手で相手の首つかむ行為。
 - d) 相手を放り投げること。(必ずグラウンド状態まで相手を放してはならない。)
- ・ 30秒間のグラウンドにおける反則行為の厳格化

(技術回避)

1回目 [アテンション] 2回目 [O+1] とし、再度パーテレ。

- a) 攻撃者がすぐ離してしまう場合。
- a) マット内を逃げる行為。(動き回る行為)
* ガッツレンチを前に出て防御する場合
- b) ガッツレンチにおける防御側の足の振り上げ。
- c) 上半身でのブロック・手首・指をつかむ行為。

クリンチについて

(フリー)

- ・クリンチの範囲は、防御側の膝の裏上、下10cmの範囲とする。
攻撃者・防御者に正しいポジションをとらせる。

(グレコ)

- ・攻撃者はクロスボディロックまたはノーマルパーテレを選択でき、片膝をつくか立った状態からスタートする。(両膝をつくことは禁止)
- ・攻撃者がすぐ相手を離れた場合、1回目 [アテンション]・2回目 [○+1]

テクニカル フォールの成立の変更について

- ・3点が2回でテクニカルフォールとなるが、2回目に3-2となりデンジャー状態になった場合はフォールが成立する。
*ニュートラル状態になれば、終了。
*5点の場合も同様。

・審判員について

- ・審判員の服装の厳格化 (正規の服装でなければマットにあがれない)
- ・デンジャーポジションは先にポイントを表示しカウントを行う。
(ジャッジも同様2回に分けてポイント表示)
- ・ガッツレンチは防御者の肘・攻撃者の肩に注意。(2-2の判断)
- ・第2秒の確認
試合中は、マット後方に位置することと、発声は禁止
- ・イエローカードはレフリーがレッドカードはマットチャーマンが決定
- ・ジュリーはポイントを記録しておく。(チャレンジの対応)

・チャレンジについて

- ・最終的には、選手が決定する。
- ・審判団は、話し合っはいけない。
- ・VTRは1回のみ見ることができる。